

2016.2.4 (木)  
パシフィコ横浜

参加無料

## 第15回 国土セイフティネットシンポジウム

# 「災害情報の最前線！」

～今！災害への備えは、未来の安全対策です～

東日本大震災後、津波以外にも台風や集中豪雨による水害や土砂災害が数多く発生し、火山噴火も各地で活発化している。また、首都直下地震や南海トラフ巨大地震の発生も懸念される中、ますます災害情報の社会的な重要性は高まっている。

今こそ行う災害への備えは、未来の防災対策である。

本シンポジウムでは、最先端の科学技術による災害情報の現状と活用への事例を報告する。

日時：2016年2月4日（木）13：00～17：00

会場：パシフィコ横浜 アネックスホールI・J会場

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1

みなとみらい線「みなとみらい駅」徒歩5分

JR京浜東北線など「桜木町駅」徒歩12分

JR東海道線など「横浜駅」タクシー10分



至みなとみらい駅

主催：国立研究開発法人防災科学技術研究所

特定非営利活動法人リアルタイム地震・防災情報利用協議会（REIC）

後援：東京商工会議所、一般社団法人東北地域づくり協会、

公益財団法人地震予知総合研究振興会

定員：200名（参加費無料）

## プログラム

■ 開会の挨拶 米倉 実 国立研究開発法人防災科学技術研究所 理事

■ 基調講演 13:10～13:50

### 災害情報の共有・利活用の最前線

～災害種別、防災フェーズ、機関・組織の枠を超えて～

白田 裕一郎 防災科学技術研究所 レジリエント防災・減災研究推進センター  
プロジェクトディレクター

災害に強い社会を実現するためには、専門的・経験的な「知の統合活用」と、個人・組織・機関同士の「協働」が不可欠であり、これらをつなぎ合わせるのが「情報」です。ここでは、予防・対応・回復、自助・共助・公助における災害情報の共有・利活用事例を紹介するとともに、これから社会一体となって取り組むべき課題について議論します。



■ Session 2 13:50~14:30

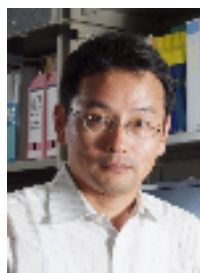


**最近の火山活動 ～火山被害への備えに、必要な情報とは～**

棚田 俊收 防災科学技術研究所 観測・予測領域 地震・火山研究ユニット長

ここ数年話題になった御嶽山や口永良部島、箱根山等の噴火で観測されたデータをもとに、火山観測からわかることと、わからないことを最初に説明します。次に、噴火に伴う火山災害の内容とその被害に備えるための情報についてお話しします。

■ Session 3 14:30~15:10



**首都直下地震への備え ～災害に備え、今すべきこととは～**

久田 嘉章 工学院大学 建築学部 まちづくり学科 教授

今後30年で70%の確率で発生すると言われている首都直下地震に備えるため、過去の地震被害と教訓と国・自治体の被害想定結果を紹介し、住宅地や中心市街地など地域特性を踏まえた実践的な震災対策（被害を出さない対策と被害が出た場合の対応策）を実例とともに紹介します。

■ Session 4 15:20~16:00



**災害被災地対応の最前線 ～鬼怒川氾濫、茨城県常総市の広域水害対応～**

水井 良暢 防災科学技術研究所 社会防災システム研究領域 災害リスク研究ユニット 研究員

9月に発生した茨城県常総市の水害において防災科学技術研究所では、緊急調査の速報を発信し、公開被害状況や国・自治体の対応情報集約サイトを構築・公開し、災害対策本部会議、市民への情報共有支援を実施しました。また、開設された県と市の災害ボランティアセンターにて活動の情報集約やデータベース構築の支援・調査を実施しました。これらの活動について報告します。

■ Session 5 16:00~16:40



**災害医療の最前線 ～災害医療の現場で起きていること～**

金谷 泰宏 国立保健医療科学院 健康危機管理研究部長

平成26年度より開始された戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)では、官公庁及び民間の有する情報を一元的に集約し、保健医療分野における支援活動の内容に応じた形で情報を提供することにより、迅速に重傷患者を被災地から搬出し、適切に医療提供が行える医療機関への収容、さらには中長期における避難所での保健医療ニーズを適切に捉えることで医療需要の増大を未然に予防できる新たな情報ネットワークの開発を進めています。本演題においては、SIPにおける取組の概要について紹介します。

■ 閉会の挨拶 早山 徹 リアルタイム地震・防災情報利用協議会 会長

《セミナーお申込み》 第20回「震災対策技術展 横浜」のホームページよりお申込みください。

<http://www.shinsaiaexpo.com/yokohama/seminar/>

※ セミナー当日、諸般の事情により演題の変更ならびに開始・終了時間の変更がございますこと、あらかじめご了承頂きますようお願いいたします。

《お問合せ》 リアルタイム地震・防災情報利用協議会(REIC) 事務局

TEL: 03-5829-6368 E-mail: [reic\\_jimukyoku0305@eq7realtime.org](mailto:reic_jimukyoku0305@eq7realtime.org)